

技術士 2 次試験に合格して



八木 貴志

(やぎ たかし)

勤務先

株式会社 鈴木東建

〒063-0864

TEL 011-768-8785 FAX 011-792-8933

E-mail t-yagi@suzukitoken.jp

■ 専門：建設部門(施工計画、施工設備及び積算)

1. 自己紹介

私は 1981 年に北海道室蘭市で生まれ、中学時代に釧路市へ転居しました。2000 年に釧路工業高等専門学校建築学科を卒業後、橋梁上部工専門の施工会社に入社し、愛知・岐阜・鳥取の各地で 6 年間にわたり現場経験を積みました。その後、13 年間は異業種である製造業に従事していましたが、工場勤務に限界を感じ、建設業界への復帰を決意。38 歳で転職活動を行い、現在の(株)鈴木東建に入社しました。現在は地中送配電工事部に所属し、電力管の管路敷設およびマンホール設置工事において、一次下請けの専門業者として施工管理業務に従事しています。

2. 受験動機

建設業界に復帰した当初、資格を何も持っていなかったため、まずは 2 級土木施工管理技士の受験を検討しました。調べていく中で、1 級土木施工管理技士の受験資格も満たしていたことがわかり、同年に 1 級・2 級の両方を受験し、無事合格することができました。その後、次なる目標を模索していた際に、「技術士」というエンジニア資格の最高峰ともいえる国家資格に挑戦しようと決意しました。ちなみに、二次試験の口頭試験では受験動機を問われ、「技術士資格を取得することで、重要なプロジェクトに参加し、技術者としての可能性を広げたいと考えました」と回答しました(笑)。

3. 一次試験について

一次試験は「ガチンコ技術士学園」の講座を受講し、過去問題や予想問題を繰り返し解くことで対策し、令和 3 年度の試験で一発合格することができました。一次試験は、過去問を繰り返し解くことが合格の鍵になるという印象です。

4. 二次試験について

これまで全て一発合格してきましたが、二次試験からは苦戦の連続でした。1 回目の筆記試験では、ガチンコ技術士学園の論文添削や資料を活用しましたが、結果は「BBC」で不合格。2 回目は会社の支援を受け、「日経コンストラクション」の個別指導講座を受講しました。担当講師が非常に丁寧に論文を添削してくださり、自分でもスキルアップを実感できました。しかし本番では、選択科目Ⅲの受験番号を誤って記入してしまい、「失格」という結果に終わりました。多少の手応えがあっただけに悔しい思いでしたが、すぐに次回に向けて勉強を継続し、モチベーションを保つことができました。3 回目も日経コンストラクションの講座を継続し、別の講師の指導を受けました。筆記試験本番では、必須問題の出題内容が予想と大きく異なり、開始 20 分ほど頭がフリーズしていました。それでも解答欄を埋めようと何とか論文を書き上げましたが、内容には全く自信が持てませんでした。次週にコンクリート診断士の試験があったため「午後はもう帰ろうか」と思ったのですが、気力を振り絞って選択問題も仕上げました。しかし試験後は、合格発表までモチベーションもなく、勉強から離れていました。そんな中、合格発表日、自分の受験番号を見つけた瞬間は「こんな奇跡があるのか」と驚きました。その後、急いで口頭試験対策を進め、無事に最終合格を勝ち取ることができました。

5. 今後の抱負

技術士は「合格して終わり」ではなく、「合格してからが本当のスタート」だと考えています。今後も継続的な学習(CPD)を怠らず、新しい技術の習得や技術者倫理の実践に努め、プロフェッショナルとして社会に貢献できる技術者を目指してまいります。